

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和6年2月27日

市川市長

団体名 ケアカフェいちかわ

(団体番号 2)

代表者名

所在地

令和5年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	183,042 円
(2) 補助対象経費総額	113,976 円
(3) 補助金交付決定額	72,550 円
(4) 補助金交付概算払額	72,550 円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	在宅医療介護啓蒙の為の市民まつり出展事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>実施時期 令和5年11月3日 実施場所 大洲防災公園(市民まつり) 参加人数 当団体スタッフ26名 市民テント内来場者約500名</p> <p>高齢者の休憩する場所の提供、およびお子さん連れのご家族が気軽に楽しめる遊びを提供し、ケアカフェの活動内容(オレンジカフェ/こども食堂/デスクカフェなど)を発信する。 市民まつりパンフレット掲載文章「高齢者の休憩所、くじ引き、型ぬき、輪投げ」を提供した。</p>
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<p>当会で毎月開催しているイベント(ケアカフェ、オレンジカフェ)などで参加者にチラシを配布。また当会WebサイトやSNS(Facebook、Twitter、instagram、LINE公式アカウント)、いちかわ支えあいネットなどで情報を発信した。</p>
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>テント内来客数、売上ともに前年を上回ることができた。これは市民まつり内で、必要とされているニーズを把握して、実践できたからではないかと考えている。(高齢者・障がい者の休憩スペースや、テント内滞在時間を延ばす工夫など)今年広報用のティッシュを用意し、その中に私どもの活動目的や内容、イベントの告知などを入れたので、多くの方に在宅介護や在宅医療の情報を提供できた。</p> <p>「幼老一体のおまつりスペース」を目指し、当日参加したスタッフも大学生～中高年(30-50歳代)～シニア(80歳代)などで、多世代のスタッフを揃えることができた。それぞれの得意分野を活かしながら、多くの一般市民と触れ合うことができた。くじ引き、型抜きなどは、こどももその保護者も多くいらしてくださり、普段触れ合うことがないような方々と接することができた。</p>
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>市民まつり出展後、別日に「振り返りの会」を実施した。 (別紙参照) この内容を踏まえ、さらにブラッシュアップさせ、来年度も同事業で出展したいと考えている。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

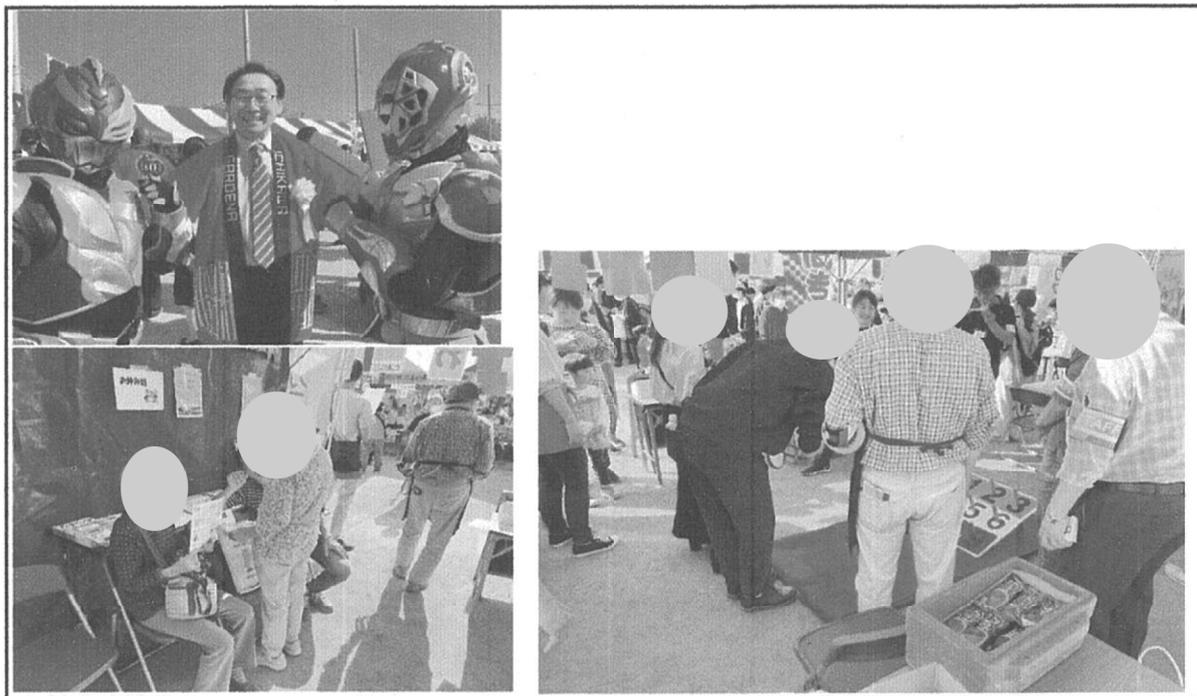
タイトル : スタッフ集合写真 (SNS発信用)

撮影年月日 : 令和5年11月3日



タイトル: 激神ザンドーと市長/高齢者の休憩スペースにて歯科医師が情報提供/輪投げでの多世代交流

撮影年月日: 令和5年11月3日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：在宅医療介護啓蒙の為に市民まつり出展事業

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	96361	くじ引き、型抜き、輪投げ販売
寄附金収入	0	
補助金収入	72550	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)	0	
会費充当	29693	団体の本会計より充当
補助金返金	-15562	
合計	183042	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	15000	15000	グリーンディング報酬()
交通費	6000	6000	駐車場3台(2,000×3台)
消耗品費	7488	5856	テント内装飾備品：テープ各種、テラシスタンド(5,856)(対象外) スタッフ飲食用コップ等(1,632)
印刷製本費	8620	8620	チラシ印刷代(7,210)、アンケート用印刷物(1,410)
通信運搬費	0	0	
保険料	14300	12500	ボランティア保険(550×26名)
使用料及び賃借料	41000	41000	(市民まつり実行委員会へ支払い) テント2張(12,000×2張=24,000)。テーブルレンタル(800×10台=8,000)。イス35脚(200×35脚=7,000)。電源使用料(2,000)
原材料費	49404	25000	駄菓子、くじ引き、型抜き
福利厚生費	25390		スタッフ昼食、スタッフエプロンクリーニング代
備品購入費	15840		輪投げ一式
合計	183042	113976	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和6年 3月28日

市川市長

団体名 市川市マンション管理組合協議会

(団体番号 8)

代表者名

所在地

令和5年10月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	271,438円
(2) 補助対象経費総額	250,952円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



(5) 実施報告

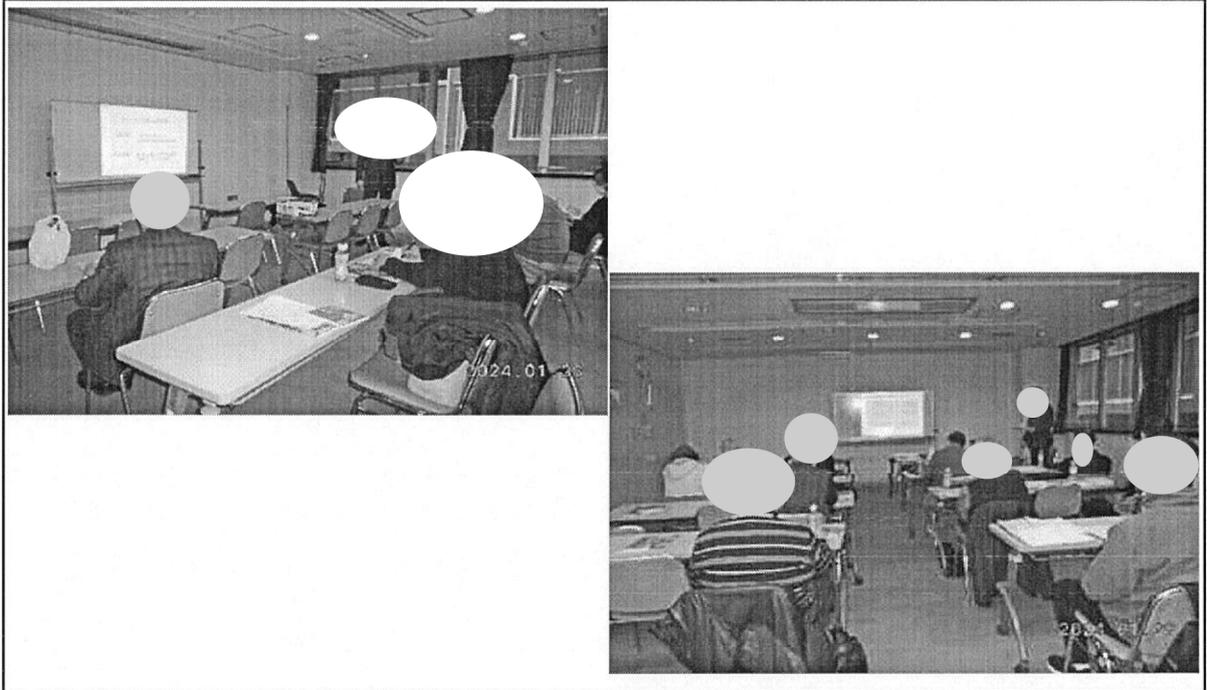
補助決定事業の名称	マンション管理セミナー・交流会・相談会
<p>補助決定事業の実施内容</p> <p>(計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)</p>	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>今期は当初計画通り、以下の4回のセミナーを開催しました。</p> <p>第一回：令和5年11月19日 於：男女共同参画センター「ウィズ」 第二回：令和6年1月28日 於：南行徳市民センター 第三回：令和6年2月25日 於：全日警ホール 第四回：令和6年3月20日 於：全日警ホール</p> <p>今年度は市内15万人のマンション住民の連携・団結を図るべく、「数の力を活かそう」をテーマに啓発・相談活動を実施、セミナーでは4回で79名の参加を得ました。</p> <p>また、第四回セミナーは、市川市議会議員4名、市・まちづくり整備課より2名の方々に登壇願ひ、マンション住民側から悩み・相談・苦情などを自由に発言願う機会を設けました。</p> <p>また「数の力」を糾合する第一歩として、共同購入を企図し、セミナーでも呼びかけを行った結果、住民どうして連絡を取り合って有利な購買を実現する例も生まれ、当初の想定通りにマンション住民のネットワークの基礎となることが期待されました。</p>
<p>広報の実施状況</p> <p>(市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)</p>	<p>当協議会の活動についての告知や情報提供については、メールアドレスを把握している約30件についてはメールにて、併せて市内の約500棟の管理組合には郵送による連絡も行いました。</p> <p>セミナー案内パンフレットは「配架依頼」手続により市関連施設への配架を願ひましたが、「広報いちかわ」への掲載については、セミナー開催施設との調整がスムーズに進まず、今年度は実現しませんでした。</p>
<p>補助決定事業の成果</p> <p>(課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)</p>	<p>今年度は「市内15万人のマンション住民の連携・団結を図る」という目標を掲げこれに沿ったセミナー・相談活動を行いました。一足飛びでの団結や連携の体制構築は簡単ではないと判断し、連携の第一歩として「共同購入」を企図しました。これが契機となり、マンション単位で連絡を取り合ってオーダーを取り纏める動きもあり、これが当初想定したネットワークの基礎になるのではないかと期待されます。</p> <p>また、第四回セミナーでは、マンション住民側の切実なニーズを汲み取れただけでなく、市川市議会議員や市・街づくり整備課の方々にマンションが直面する現実を知って戴けたことは大きな成果と考えます。</p>
<p>補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策</p> <p>(今後の方向性)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>従前より無関心層への啓発には注力してきましたが、今年度は①大判の封筒を用いて目を引く②封筒にアピールの文言を印刷したシールを貼付③カラーのパンフレットを同封する、等々種々の方策を講じ、より高い効果を期待したものの、成果としては十分とは言えませんでした。加えて、非常にコストが掛かること、封入・発送の作業負担が重いこと等、継続的に取り組むことは難しいことが判明しました。</p> <p>対策として①往復ハガキを用いて回答率を高め②返信ハガキは料金受取人払扱いとして費用を圧縮③案内面はカラー印刷で目を引く、という形に転換しました。これにより郵送料は概ね45%削減され、作業手間も現実的なレベルに収まりました。</p> <p>回答率・セミナー出席率は大型封筒時とさほど変わらないものの、出席しなくとも共同購入への参加や問合せは増えるという効果が見られました。</p> <p>セミナーや共同購入取組などの告知をデジタル化(メール化)移行すべく、セミナー毎に出席者にはメールアドレスを記入願うことを徹底したものの、実際は、メールアドレスを持っていない、あるが使っていない、スマホではない携帯メールの為添付資料は受け取れない、SNSしかダメ、等々が続出し、当初計画通りのデジタル化は進みませんでした。ただ、60歳台以下の方々は概ね問題もないことが判り、これらの方々が将来管理組合役員を中心となれば、いずれ郵送等は必要なくなるのではと期待されることより、当面は上記のような合理化の工夫を行いながら、デジタル対応と郵送等の併用を継続する方向と致します。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

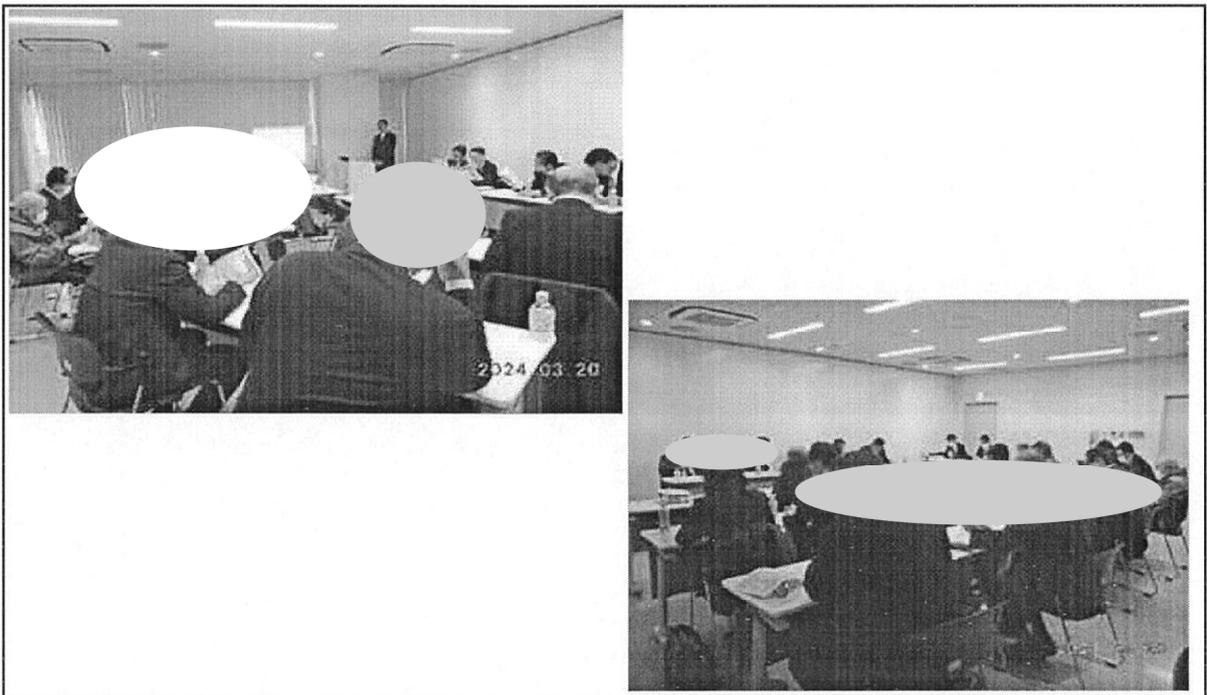
タイトル : 第二回セミナー 「数の力」を活かそう！

撮影年月日: 令和6年1月28日



タイトル : 第四回セミナー 「市議に聞いて貰おう！」

撮影年月日: 令和6年3月20日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: マンション管理セミナー・交流会・相談会

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入		
寄附金収入		
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)		
会費充当	145,962	団体の本会計より充当
補助金返金	-24,524	
合計	271,438	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費			外部講師等の招聘なし
交通費	28,826	19,404	別紙「交通費一覧」「交通費一覧(補助対象分)」御参照
消耗品費	41,004	34,980	コピー紙、ラベルシール、封筒、ハガキ代等(詳細別紙)
印刷製本費	12,842	12,842	パンフレット印刷外注 5784円/5258円 第一庁舎ものづくり工房 印刷代1800円
通信運搬費	177,176	177,173	郵送料第一回分56,448円、第二回分56,160円第三回分34,370円、第四回分30,114円、切手84円
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	10,390	6,550	《セミナー開催分》 全日警ホール1610円/1710円 南行徳市民センター2220円 男女共同参画センター「ウィズ」1010円 《打ち合わせ・会議》 地域ふれあい館使用料3,840円(補助対象外)
原材料費	0	0	
その他経費	1,200		飲食代 1,200円
合計	271,438	250,952	

※ 領収書(原本)を添付してください。

様式第12号（第11条関係）

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和6年 2月 26日

市川市長

団体名 緑のみずがき隊

（団体番号 10 ）

代表者名

所在地

令和5年 4月 1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	199,125円
(2) 補助対象経費総額	170,000円
(3) 補助金交付決定額	85,000円
(4) 補助金交付概算払額	85,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	環境教育プログラム『みどりの寺子屋』『緑の楽交』
<p>補助決定事業の実施内容</p> <p>(計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)</p>	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>4月16日10:00～12:00 北方ミニ自然園 「食べられる野草の観察」 5月14日10:00～12:00 北方ミニ自然園 「田植えと生きものの観察」 6月4日10:00～12:00 北方遊水池 「ツバメのふしぎ大発見」 7月15日9:00～11:30 北方ミニ自然園 「かかしを作ろう」 8月19日9:30から12:00 北方遊水池「北方遊水池の不思議大発見3」 9月10日9:00～11:00 北方ミニ自然園 「稲刈り」 9月21日9:00～12:00 北方ミニ自然園 「脱穀」 10月7日10:00～12:00 北方ミニ自然園・北方遊水池 「秋のトンボ調査」 10月21日10:00～12:00 北方ミニ自然園 「収穫祭・餅つきと民話語り」 11月25日10:00～12:00 北方遊水池 「冬の野鳥観察」 12月17日13:00～15:30北方遊水池ビジターセンター「わらないリースとしめ縄作り」1月13日10:00～12:00北方遊水池ビジターセンター「団子あげ」 2月17日10:00～12:00 北方ミニ自然園 「春の水辺の自然観察」 (北方ミニ自然園は市民プール前の民有地、北方遊水池は大柏川第一調節池緑地のことで、共に北方町4丁目にあります。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加人数は、合計647人(うち一般市民:人476)でした。 ・2023年度の企画は、日程変更しながらも13回実施しました。 ・「田植え」「稲刈り」「脱穀」は雨天のため延期して、「野草」「ツバメ」は、日程調整しています。「わらない」「団子あげ」は、北方遊水池ビジターセンターを借用して実施しました。「夏の水辺の自然観察」は、他の団体との共同開催として「北方遊水池の不思議大発見3」に名称変更しました。 ・「野草を食べて見よう」「収穫祭・餅つきと民話の集い」は、コロナが5類になり飲食を提供して実施しました。 ・企画を実施するため、ミニ自然園の整備や準備を毎月2回、毎回10人程の隊員で行いました。また、企画の内容の打ち合わせを毎月1回、公民館で行いました。
<p>広報の実施状況</p> <p>(市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)</p>	<p>マスコミ(大手新聞社等)、ミニコミ(地域新聞等)、合計10社余りに案内の掲載や取材を依頼しました。・回毎に案内チラシとポスターを作成し、周辺の小学校や自治会に配布し、公民館等においてもらいました。</p>
<p>補助決定事業の成果</p> <p>(課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然観察や稲作体験の機会を提供し、子どもも大人も身近な自然や地域の文化に関心を持っていただこうと企画・実施し、参加者から好評を得ました。昨年は、コロナ感染症の影響で中止・毎回到人数制限をしましたが、2023年度は企画13回実施できました。 ・13回の企画を実施でき小学校低学年の子どもとその保護者を中心に延べ476人(就学前の幼児を含む)の方々が参加されました。参加者は、水田や池などで水辺の生きものに直接触れ合い、自然の中で遊んだり農作業したりして自然の面白さや大切さそれぞれに感じていただけたと思います。 ・コロナあけの気持ちも伴い、親世代の地域の自然との触れ合い文化への関心の高さを感じました。 ・水田や池などの水辺の自然の大切さやそれを守り育てる活動を広くアピールで
<p>補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策</p> <p>(今後の方向性)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般参加者数(隊員を除く)は、昨年度より増えています、来年度もより多くの参加者に来てもらえるよう努力します。自然や文化との触れ合いを求める市民、特に子どもとその親のニーズがあり、みずがき隊の活動が認知されてきたと思います。より一層の企画の充実と情報発信や宣伝の工夫が、引き続き課題です。 ・来年度も、地域の文化を紹介する企画として「団子あげ」を復活します。 ・環境や文化に対する意識を高め、地域の自然や文化を豊かにするため、緑のみ

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 「田植えと生きもの観察」

撮影年月日 : 2023年5月14日



タイトル : 「春の水辺の自然観察」

撮影年月日 : 2024年2月17日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: 環境教育プログラム『みどりの寺子屋』『緑の楽交』

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	55,700	収穫祭 大人400円×39名、小学生200円×11名 わらないリース作り 大人300円×40名、小学生100円×20名、その他100円×239名 小学生以上から徴収
寄附金収入		
補助金収入	85,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他(助成金等)		
会費充当	58,425	団体の本会計より充当
合計	199,125	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	14,000	11,000	外部講師謝礼 5,000円×1回・3,000円×3回
交通費			
消耗品費	91,391	77,500	別紙参照
印刷製本費	5,134	4,000	緑の寺子屋・楽校11回開催、(各回ポスターカラー11枚チラシ100枚両面コピー)配布資料の印刷、コピー用紙A4 ¥492、¥437、¥580×2
通信運搬費	6,300	6,300	案内ハガキ63円×100枚、計6,300円
保険料	13,720	11,200	ボランティア保険28円×490人
使用料及び賃借料	60,000	60,000	土地借用 30,000円×1軒 15,000×2軒
原材料費			
備品購入費	8,580		ガーデンアグリパイプ858円×10本
合計	199,125	170,000	

※ 領収書(原本)を添付してください。

様式第8号（第8条関係）

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

令和6年2月26日

市川市長

団体名 緑のみずがき隊
(団体番号 10)
代表者名 
所在地 

令和5年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をしたいので届け出ます。

記

1 補助決定事業の名称	2 変更の内容	3 変更の理由
環境教育プログラム	『緑の寺子屋』『緑の楽校』	
野草を食べて見よう	4/8→4/16	日程調整
田植と生き物観察	5/13→5/14	雨天延期
ツバメの観察	6/17→6/4	日程調整
稲刈り	9/9→9/10	雨天延期
脱穀	9/23→9/24	雨天延期
冬の野鳥観察	11/18→11/25	日程調整
わらないリースとしめ縄作り	12/10→12/17	日程調整
夏の水辺の自然観察→北方遊水池のふしぎ大発見3		名称変更

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和6年 3月 29日

市川市長

団体名 アシカちゃんクラブ

(団体番号 14)

代表者名

所在地

令和5年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	690,385円
(2) 補助対象経費総額	681,000円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



(5) 実施報告

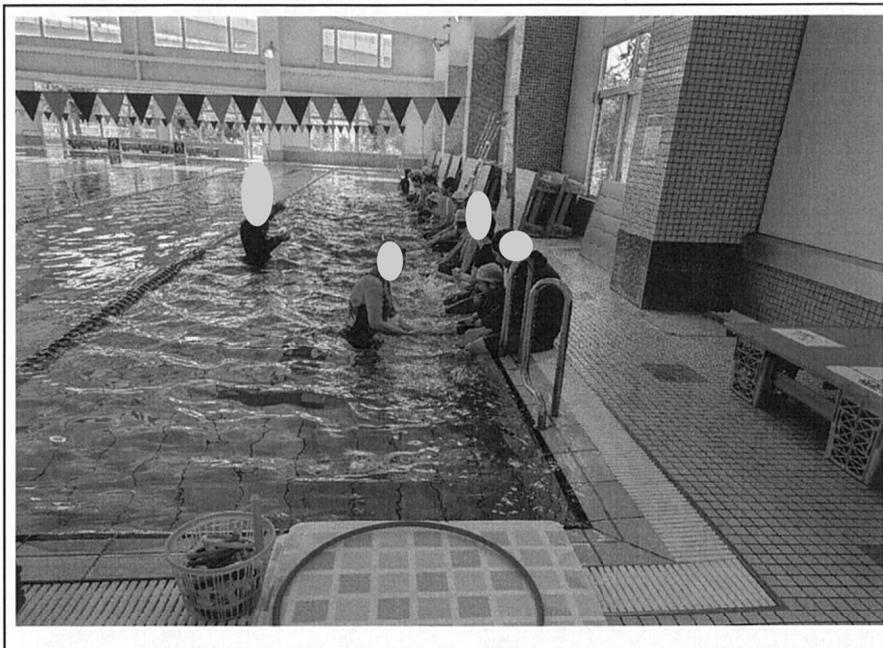
補助決定事業の名称	知的障害児・者のための水泳療育
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>(実施時期) 令和5年4月から令和6年3月 (実施場所) クリーンスパ市川 (25メートルプールの2レーンを貸し切る) (内容) 水泳療育専門のコーチより、個々の会員の障害特性に合った身体の動かし方、泳ぎ方等の指導を受ける。月2回のプール活動では、主に2つのコースに分かれ、個別で泳ぐことができる者、保護者と共に泳ぐ者が、それぞれコーチの指導の下、水泳技術の習得に励んだ。指導により、水中での身体の使い方を具体的に学ぶことで、心身の機能が向上し、また、親子で元気に、楽しく水泳をすることができた。</p> <p>受益者延べ人数518名(うち市民の数474人)</p>
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<p>チラシを作成し、配布を実施した。 内訳は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員による学校関係等知人への配布 150枚 ・クリーンスパ市川 200枚 ・須和田の丘支援学校 40枚 ・コンプリオ (放課後等デイサービス) 等 30枚
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>参加者は障害児・者の為、一般の水泳教室では受け入れが難しく、本人も楽しく参加することができない場合が多いが、当クラブでは専門家のコーチによって個々の障害の特性に合わせた手厚い指導を受ける事ができる。結果として、単に心身の機能の向上だけでなく、様々な泳法による水泳技能向上をかなえることができた。それは、障害児・者本人にとって大きな自信となり、子どもの余暇の充実、その家族にも大きな喜びをもたらした、生活を豊かにすることができた。</p> <p>また、一般の水泳教室を利用する際、付き添う保護者が障害児・者と性別が異なる場合、子ども一人での着替えなどが困難なため通常施設の利用をあきらめなくてはならないことが多い。当クラブでは、性別の異なる保護者と利用できる更衣室を施設に用意してもらい、親子で気兼ねなく安心して利用できるよう準備した。また、コーチや他の保護者に協力を依頼し、着替えスペースに同伴できない保護者のお子さんの着替えの見守ったり、手伝ったりするような仕組みを作った。</p> <p>知的障害児・者の場合、スポーツを通じての家族同士の交流は一般の社会では難しいが、同じ立場の障害児・者とその家族と一緒に水泳に取り組むことで、会員同士の交流や情報交換が盛んになり、水泳を通じての仲間作りができた。</p>
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>昨年度同様、参加者が障害児・者であるため本人単独での来所や参加が難しく、家族の負担となっている。また、本人が参加できる状態でも家族の体調や予定などにより参加できないこともあった。引き続きボランティア等の募集にも力を入れて、本人が自力で参加できるような環境を整えていくことが課題である。</p> <p>レッスン中プール内で保護者は子どもを注視していなければならない、プール内で会員同士が交流をはかることが難しい。今後は、総会を開く機会を設ける等会員同士で交流できる場を増やしてより協力できる環境を作っていきたいと考える。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 入水前準備運動

撮影年月日 : 令和6年2月24日



タイトル : 個別指導

撮影年月日 : 令和6年2月24日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: 知的障害児・者のための水泳療育

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入		
寄附金収入		
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)		
会費充当	540,385	団体の本会計より充当
合計	690,385	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	681,000	681,000	講師料(3名)27500円/回×24回、学生指導補助員交通費1,500円/回×14回
交通費	0	0	
消耗品費	517	0	
印刷製本費	1,910	0	会員募集チラシ印刷代
通信運搬費	5,238	0	レンタルサーバー代
備品	0	0	
懇親会費	0	0	
振込手数料	1,720	0	振込手数料
合計	690,385	681,000	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和6年3月25日

市川市長

団体名 NPO法人ニッポンアクティブ
クラブ市川拠点
「ナルク市川」
(団体番号 17)
代表者名 XXXXXXXXXX
所在地 XXXXXXXXXX

令和5年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	337,080円
(2) 補助対象経費総額	300,000円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	市民芸術講座事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 3年余に及んだコロナ禍が漸く終息に向かう中、感染防止策を万全に取りながら、別紙のように計画通りすべての事業を実施することができた。 別紙、チラシ参照
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	毎回、ナルクの会報への予告とチラシの配布を行い合わせて市の公報へ掲載(年3回 コンサート)してPRに努めた。特に市の公報は効果があった。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 コロナ禍の下で窮屈な生活を強いられている市民に、外出して運動不足やストレスの解消の機会を提供できた。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 参加していただいた市民からは評価する言葉をいただいたが寄り多くの市民に参加していただくためには企画の内容(特に講座)には検討の余地がある。

2023年度 市民公開講座事業 報告

		参加者数
6/19 (月)	土ル市川 設立20年記念 福祉ボランティアフェスティバル	80
7/10 (月)	「スマートフォンの安全便利を伝える」 [Redacted]	21
8/25 (金)	「サマエコンサート ～ グライタリン・セブンの調べ～」 フェスティバル「アラバタ」	28
9/4 (月)	「受ける人にも、支援する人にも 望む」 ボランティアとほ」 [Redacted]	11
10/2 (月)	「ニフアICT利用実態調査報告と 利用促進のための提言」 [Redacted]	19
11/13 (月)	「みんなのサニタの事業と地域との連携」 [Redacted]	19
12/22 (金)	「クリスマスコンサート ～ グライタリン・セブンの調べ～」 [Redacted]	96
1/15 (月)	「ニューイヤーコンサート ～ キヤラバニライブ～」 [Redacted]	127

2/5(月) 「健康で長生きするための簡単会事術」 16

3/11(月) 「災害に備える～市川市の防災・減災への取り組み」 19

合計年度参加者計 436名

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル: 市川福祉ボランティアフェスティバル 健康体操愛好会
撮影年月日: 2023. 6. 19



タイトル: 手毬茶太鼓.

撮影年月日: 2023. 6. 19



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称： 市民公開講座事業

1【収入】

項目	金額	説明（積算等）
事業収入		
寄附金収入		
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）		
会費充当	187,080	団体の本会計より充当
合計	337,080	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明（積算等）
報償費	299,000	270,000	外部講師等の招へい <u>あり</u> なし
交通費	38,080	30,000	実行委員交通費
消耗品費			
印刷製本費			
通信運搬費			
保険料			
使用料及び賃借料			
原材料費			
合計	337,080	300,000	

※ 領収書（原本）を添付してください。

様式第8号（第8条関係）

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

5年6月19日

市川市長

NPO法人ニッポンアクティブライフクラブ
団体名 市川拠点「ナルク市川」
(団体番号 17)
代表者名 [REDACTED]
所在地 [REDACTED]

5年6月19日付けで交付決定のあった市川市市民活動
団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をし
たいので届け出ます。

記

1 補助決定事業の名称

市民公開講座事業

2 変更の内容

代表交代

3 変更の理由



市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和6年3月12日

市川市長

団体名 MOA食育ネットワーク千葉・ハピネスクラブ

(団体番号 18)

代表者名

所在地

令和5年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、
下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	341,885	円
(2) 補助対象経費総額	92,340	円
(3) 補助金交付決定額	65,550	円
(4) 補助金交付概算払額	65,550	円



(5) 実施報告

<p>補助決定事業の名称</p>	<p>健康を守る自然食中心の食育推進事業</p>
<p>補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)</p>	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 コロナ禍の影響で、公民館の調理実習室を使用することができず、12月に予定していたお節料理の食育セミナーは実施することができませんでした。 それ以外の事業は予定通り実施することができました。 4月 フォトセラピー 東京国立博物館 参加者 14名 6月 読み聞かせ&バイオリン演奏 富美浜ふれあい館 参加者 21名、スタッフ13名。 7月 食養生セミナー 東京療院 健康チェックとお茶&一輪花体験 8名 11月 市民まつり 倉科フェック 131名、岡田式健康法体験 61名、花一輪体験 25名 11月 あなたの健康チェック 全日学ホール 参加者 13名、スタッフと講師 17名。 2月 味噌食育セミナー 行徳公民館 15名、宮田ふれあい館 10名。</p>
<p>広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)</p>	<p>市川市のボランティアセンターのWEBに開催案内を掲載 市川市内にお住まいの友人、知人、その又友人知人に、パンフレットを配布し、メール等でも広くお知らせをして参加者を募集しました。</p>
<p>補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 昨今、ストレスが原因で様々な心身の病気が蔓延していると見聞きしております。そのストレスをどのように解消して、健康寿命を延ばし、市民の皆様が心豊かな生活を送っていくことができるか、一モデルとしての健康法を紹介し体験して頂きました。 特に、市民まつりでは老若男女、多くの方が参加、体験され、楽しかった、体がポカポカした、体や心が軽くなった、等、喜びの感想を多数頂きました。</p>
<p>補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 友人、知人のみならず、もっと多くの方々に事業の開催をお知らせするには、どうしたらよいか、課題です。 今後は、広報の掲載、又、SNS(?)等を利用して若い人にもアプローチできるように検討していきます。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

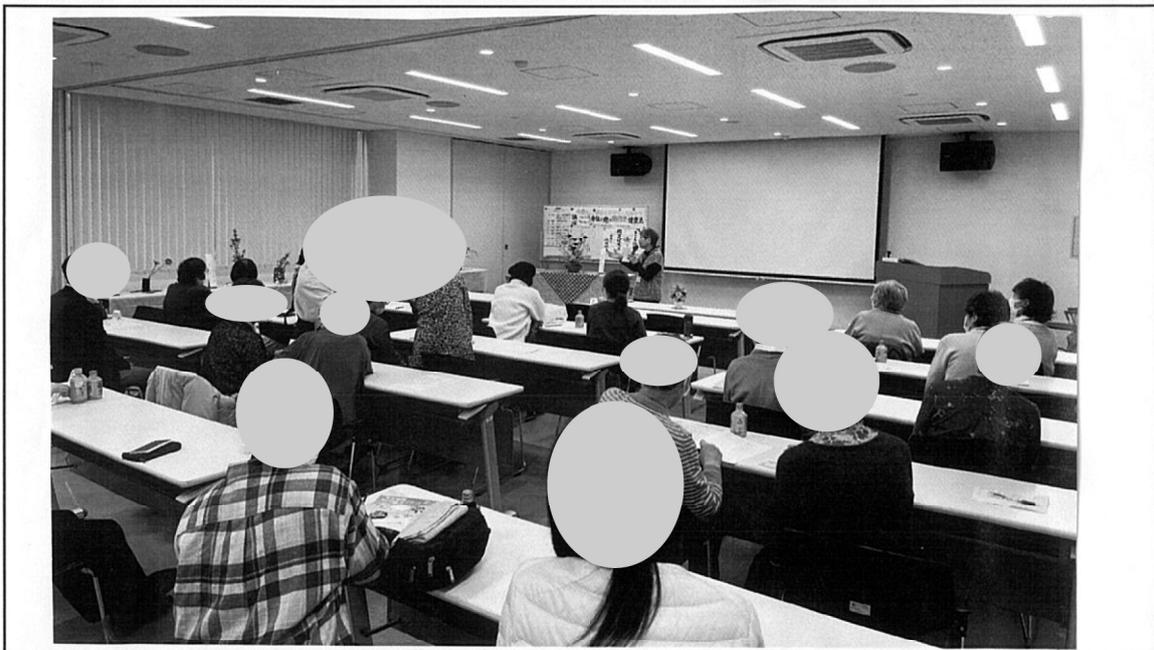
タイトル : 市民まつり

撮影年月日: 2023、11、3、



タイトル : 「あなたの健康チェック」

撮影年月日: 2023、11、26、



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: 健康を守る自然食中心の食育推進事業

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	198,360	参加費 (参加者 105名)
寄附金収入	20,000	明社会
補助金収入	65,550	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)	0	
会費充当	77,355	団体の本会計より充当
市補助金返金	- 19,380	
合計	341,885	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	50,100	40,700	外部講師等の招へい (西) / なし
交通費	1,100	0	駐車場料金
消耗品費	45,123	14,000	生花, みかん, 包送紙, 袋, 等
印刷製本費	900	0	コピー代
通信運搬費	0		
保険料	0		
使用料及び賃借料	40,760	37,640	ハチ幡市民会館補助対象外, 市民まつり
原材料費			
振込手数料	922		市民まつり使用料, みかん代
味噌材料代	138,040		手作り味噌キット代
昼食代	64,940		「健康な7」市民まつり他, 8/27昼食代
合計	341,885	92,340	

9,500円
4,200円
7,000円
20,000円

※ 領収書(原本)を添付してください。

様式第8号（第8条関係）

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

令和6年3月12日

市川市長

団体名 MOA 食育ネットワーク千葉・ハビネスクラブ
(団体番号 /P)
代表者名 XXXXXXXXXX
所在地 XXXXXXXXXX

令和5年4月 / 日付けで交付決定のあった市川市市民活動
団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をし
たいので届け出ます。

記

- 1 補助決定事業の名称 健康を守る自然食中心の食育推進事業
- 2 変更の内容 。 団体所在地の変更
。 12月の食育セミナーが実施できなかった。
- 3 変更の理由 コロナ禍の影響で市川市内の公民館の調理実習室を
使用できなかった為



市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和6年2月19日

市川市長

団体名 古事記に親しむ会

(団体番号 19)

代表者名

所在地

令和5年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	289,383
(2) 補助対象経費総額	173,536
(3) 補助金交付決定額	117,500
(4) 補助金交付概算払額	117,500



(5) 実施報告

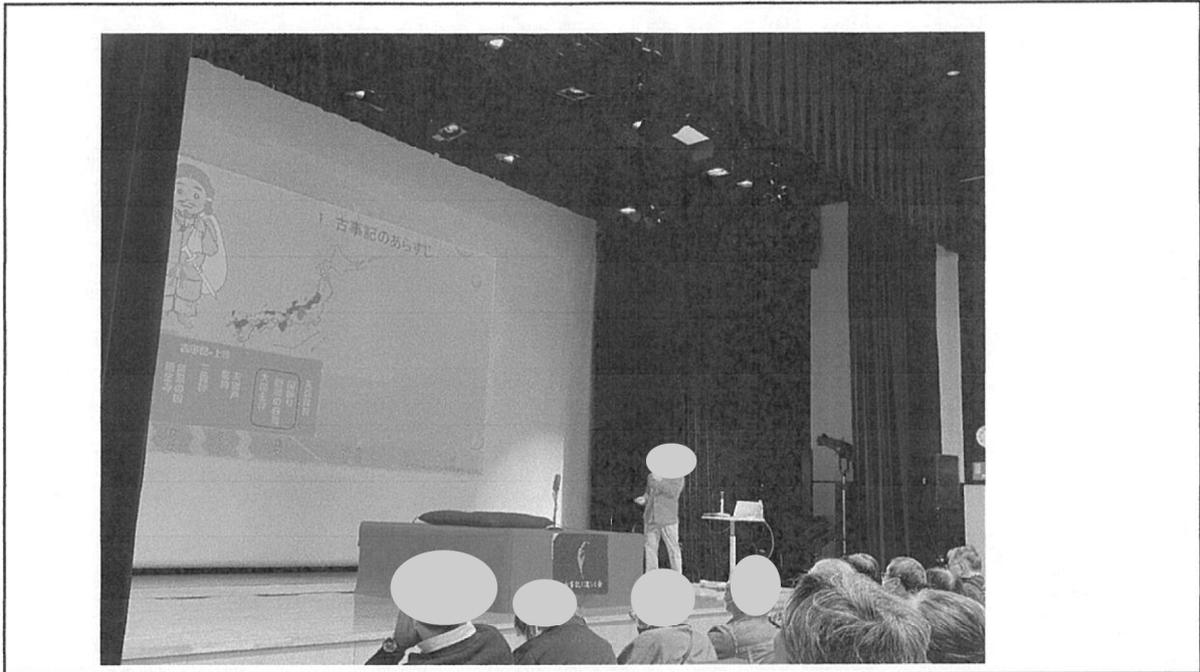
補助決定事業の名称	第1回 落語de古事記<エピソード1>
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 計画通りに実施できた。[redacted]氏による「古事記の概要と時代背景」及び、千葉大学・落研・[redacted]による「落語」での講演会を開催した。参加者は203名で盛況であった。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	(1) チラシの配布：6,000枚を配布した(主たる配布先は、市川市の施設・80ヶ所及び千葉市の施設・47ヶ所)。(2) 後援は、3カ所(千葉大学、千葉県、市川市)から取得した。(3) マスメディアによる告知5カ所(市川市広報、ちいき新聞、市川よみうり、読売新聞、産経新聞)を通じて行った。 (4) ホームページを修正し参加申込を容易にした。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 今回のイベントは、評判がよく、来年も同じ企画(古事記を落語で・その二)を実施したい。民族が神話を伝承していかないと、その民族は衰退していくと言われている。一般的に、古事記は難しいとの認識が広まっている。又、学校教育でも神話伝説の教育が十分なされていない。公的機関に代わって、私達は、日本人としての常識・教養を提供するするものです。落語を通じて古事記に書かれている事蹟を知ることにより、より身近に感じてもらい、神話の伝承に役立ったと思う。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 今回の講師は、二人とも大学教授であり、専門性が高かったきらいはあります。古代の神話と伝説を普及するとの観点からは、今後は、素人受けのするイベントを企画・実施していく方針です。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

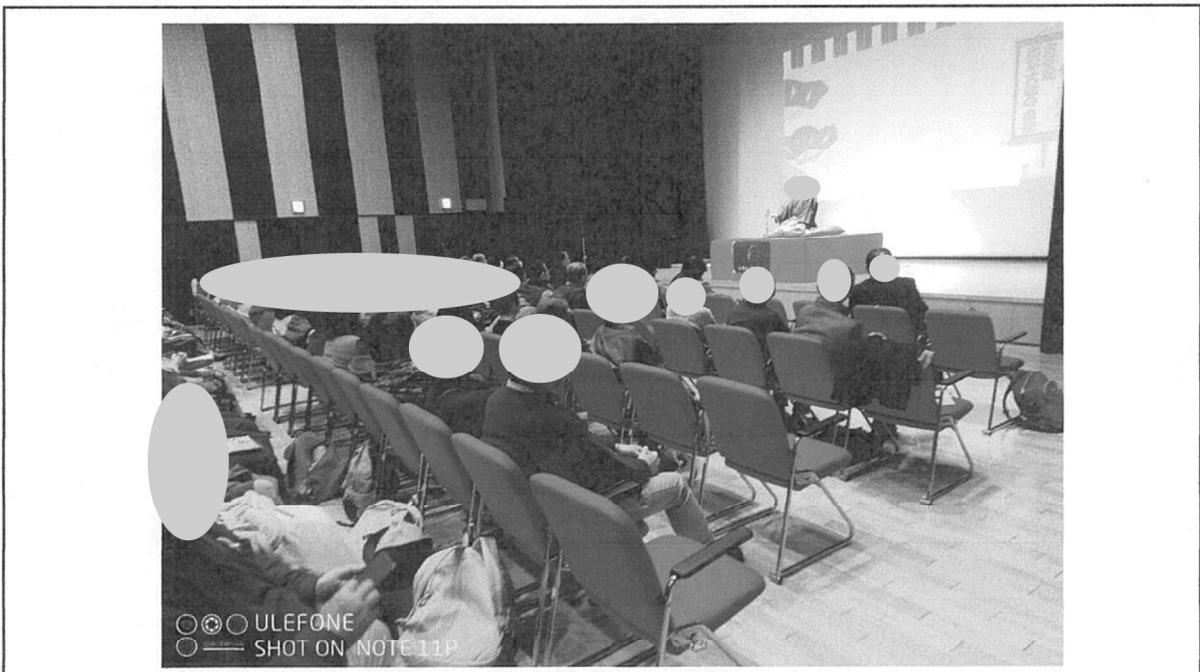
タイトル : 第3回古事記に親しむ会 講演会「古事記を落語で」

撮影 2023年11月25日 :



タイトル : 第3回古事記に親しむ会 講演会「古事記を落語で」

撮影 2023年11月25日 :



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：第1回 落語de古事記<エピソード1>

1【収 入】

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入	180,000	チケット販売収入（1,000円X180枚）
寄附金収入		
補助金収入	117,500	市川市市民活動団体事業補助金（概算払い）
その他 （助成金等）		
会費充当	22,615	
補助金返金	-30,732	概算払受領117,500円-実際の補助金収入86,768円
合 計	289,383	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費	180,000	120,000	講師料・3名（50,000円・2名+10,000円・1名）、司会者・1名（10,000円）
消耗品費	31,907	20,000	封筒、用紙、プリンターインク等
印刷製本費	15,025	15,025	チラシ印刷、コピー代等
通信運搬費	18,511	18,511	チラシ配布用切手等郵便代
使用料及び賃借料	13,560	0	全日警ホール（市川市の後援により使用料半額）
HP修正制作費	20,000	0	
反省打合せ費	10,380	0	参加者・8名
合 計	289,383	173,536	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和6年3月27日

市川市長

団体名 NPO法人市川子どもの外遊びの会

(団体番号 20)

代表者名

所在地

令和5年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	384,909円
(2) 補助対象経費総額	368,482円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	子どもが安心して自由に外遊びするためのプレーパーク事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>実施時期 令和5年 4/8、4/22、5/13、5/27、6/10、6/24、7/8、7/22、9/9、9/23、10/14、10/28、11/19、11/25、12/17、12/23 令和6年 1/27、2/18、2/24、3/17、3/23 計21回</p> <p>実施場所 宮久保プレーパーク、里見公園、西の下公園、宮久保6丁目市民広場</p> <p>内容 子どもたちが自由に遊べる外遊びの場（プレーパーク）の開催</p> <p>参加者数 のべ1309人 (乳幼児442人、小学生356人、中高生24人、大人487人)</p>
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<ul style="list-style-type: none"> ・活動場所でのチラシ配布 ・地元自治会掲示板でのポスター掲示 ・ホームページ、SNSに情報掲載、メールマガジンの発行 ・会報の発行（年4回） ・市川駅南口図書館にて活動中の写真の展示
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>外部よりプレイワーカーを招くことができ、安全かつ自由な外遊びの環境をある程度整えることができた。</p> <p>毎回継続して遊びに来る小学生が多く、さらには中学生の参加も増え、子どもたちの居場所として機能できた。</p> <p>また、乳幼児親子の参加も多く、保護者が楽しみながら、小さな子どもたちを安心して外遊びさせられる環境作りに貢献できた。</p>
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>より安全で自由な遊び環境を整えるためには、プレイワーカーが2人いることが望ましいが、現状では人材確保や費用負担の面で実現が難しい。</p> <p>これを補うため、活動をサポートしてくれるボランティアを募った。その結果、のべ33人のボランティアの協力を得ることができた。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : みんなでカレー作り

撮影年月日:令和5年9月23日



タイトル : 宮久保プレーパークに集まった子どもたち

撮影年月日:令和5年10月28日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：子どもが安心して自由に外遊びするためのプレーパーク事業

1【収入】

項目	金額	説明（積算等）
事業収入	0	
寄附金収入	0	
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）	22,800	ダイエー「黄色いレシートキャンペーン」
会費充当	212,109	団体の本会計より充当
補助金返金	0	
合計	384,909	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明（積算等）
報償費	315,000	300,000	外部講師等の招へいあり プレイワーカー謝礼15000円×21回
交通費	26,382	26,382	スタッフ交通費 のべ60人分
消耗品費	35,737	35,000	印刷用紙、ガムテープ、洗剤、グリセリン、 マジック 計22800円 シャベル2156円、炭1408円、インク7624円、 救急用品1749円
印刷製本費	5,690	5,000	パンフレット印刷4160円 チラシ印刷1530円
通信運搬費	0	0	振込手数料
保険料	2,100	2,100	ボランティア保険 350円×6人
使用料及び賃借料			
合計	384,909	368,482	

※ 領収書（原本）を添付してください。

様式第8号（第8条関係）

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

令和5年10月23日

市川市長

団体名 NPO法人市川子どもの外遊びの会
(団体番号 20)
代表者名 [REDACTED]
所在地 [REDACTED]

令和5年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をしたいので届け出ます。

記

- 1 補助決定事業の名称
子どもが安心して自由に外遊びするためのプレーパーク事業
- 2 変更の内容
 - ① 活動場所の変更
変更前：宮久保プレーパーク
変更後：里見公園 および
宮久保6丁目市民広場 ほか
 - ② 活動日の変更
変更前：2023年4月～2024年3月（8月・2月を除く）
第2・第4土曜日
変更後：2023年4月～10月（8月を除く）
第2・第4土曜日 および
2023年11月～2024年3月
第3日曜日・第4土曜日
- 3 変更の理由
 - ① 活動場所としていた宮久保プレーパークが2023年11月より使用不可になったため。
変更後は、長年活動している里見公園に加え、宮久保プレーパーク近隣の公共施設（市の関係部署（こども家庭支援課、公園緑地課、管財課等）との調整により決まるため、現時点では未定）にて活動を行う。
 - ② 活動場所の変更に伴い、活動日の変更を行う。

